

健康と光線

謹賀新年

昭和60年元旦



サナモア光線協会

神秘的な光

舊約聖書の創世記には、**「神が天地を創造し賜うた時、神は明るくするようにと言われ、光が誕生した。神は光を御覧になり、その素晴らしさにうたれ、神は闇から光を分けられた」と**記されています。

天地創造の昔から、光、即ち太陽光線は地球に限りない恩恵を与えています。このさんさんと降り注ぐ太陽光線の下で、生命誕生のドラマが繰り広げられ

たのです。現今、光の存在下に、生命を司どる遺伝子(DNA)を作成できることが実証されましたが、太陽光線が太古の生命誕生の過程に関与した蓋然性を強く示唆しています。

この光と言うのは、目に見える明るさだけではなく、目に見えない点を誤ると、天地創造の光を理解してないことになります。でも現に光を照明と同じと思っている人もいます。これはエジソンが電球を発明して、光の一部分の明るさを人工的に作り出

すことに成功し、人類に多大な恩恵を与えたため、光を照明として捉えるようになってしまったのです。その結果、光の生体に対する影響については顧慮されず、どうすれば効率よく明るさを再現できるかが主に研究されました。

しかし、真の光、即ち太陽光線によって与えられる光は、目には見えませんが、無くてはならない光、即ち紫外線や赤外線が含まれています。

でも、光の作用は未だ一部が解明されただけに過ぎません。その作用は、同じ波長を持つ人工光線で代用できますが、光以外の手段で補うことは困難です。これは、植物が光なしに葉緑素を合成できない一事をもつてしても明らかです。

今もって光の全貌を知るには程遠く、神秘のベールに包まれているのです。

人工太陽灯の誕生

理想的な光は、大気清浄な高原に降り注ぐ紫外線に富む自然の屋外の光です。もしも、健康増進や病気の治療に、自然が与

精妙な自然の摂理

— もっと光を浴びよう —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

デンマークのニールス・フィンゼンです。

フィンゼンは、日光療法によって、天然痘のあばた(痘痕)が目立たなくなることにについて研究していた医学徒でした。彼はエジソンの発明した電球では紫外線を得ることができないので光線治療には応用できないこ

「予防医学の立場から、紫外線浴は、自然の光が足りない工場労働者には、著明な効果があり、また一方、就学前の児童ならびに学童には、特に有益である。」

近年の文明の進歩に伴う生活様式の変化が、自然の光を遠ざけ、その結果、健康が虫蝕まれているのではないか。

えた大いなる恵、光を利用した光線治療をしようとするのなら、目には見えないが有益な作用のある紫外線と赤外線を持つ光を再現することから始めなければなりません。

太陽光線の光と照明の明りの違いに迅速く気づき、カーボンを使って太陽光線を再現した人こそ、「光線療法の父」と呼ばれ

とから、カーボンアークを電氣的に燃焼させる方式を利用して、人工的に紫外線を発生するカーボン灯を作ったのです。そしてウィーンに出て、自から考案した装置を使って皮膚結核(狼瘡)の治療を行い、その効果を立証した功績に対して、一九〇三年にノーベル医学・生理学賞に授与されたことは、光線療法学に記述されている通りです。

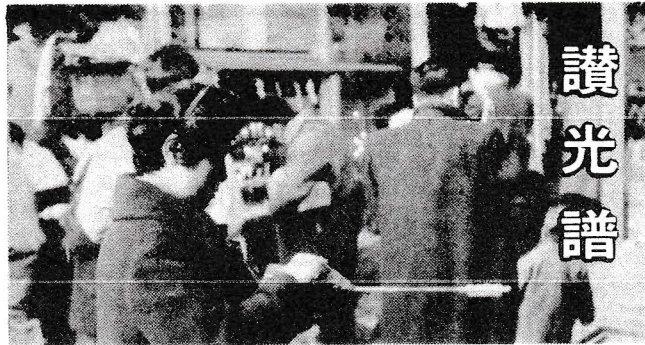
言う迄ありませんが、サナモアの原理はフィンゼンの研究を進歩発展させたものです。

もっと光を浴びよう

サナモア光線は、健康のためにも、予防のためにも、治療のためにも使えます。しかし、サナモア光線と言えども、決して奇蹟は起こしません。ただその原理は、薬物療法や手術療法とは根本的に異なりますので、効果の出方も違います。時にこれを奇蹟と思う人もあるかも知れませんが、これは奇蹟ではなくサナモア光線が生命体の生理機能や抗病力を高めるために起きた自然の結果に過ぎないのです。

世界保健機構(WHO)も、次の如く勧告しています。

讃光譜



銭洗弁天

宇都宮義真撮影



光線が足らぬ

横浜児童研究所が全市の幼稚園、小学校、中等学校の初年級生十三万人について調べた処によると、背丈に胸囲が伴わぬ事が分り、之は紫外線に恵まれぬ結果だという至極あたりまえの結論に達したとのことです。

また、名古屋葵小学校の校医の村井静夫先生は、青年期にある多数の結核死(このため昭和9年頃には、女子十九才、男子二十五才を厄年として恐れた。)を防ぐには、学童の健康を顧慮し、体育を盛んにすることが目下の最大急務と考え、この目的を達成するために紫外線の全身照射を行ったのでありますが、大略次の如く述べています。

「在学時代に、素質の悪い、やせた青白い元氣のない不健全な学童の素質をよくし、結核に対する抵抗力を作る必要があります。(中略)」

紫外線の人体に及ぼす局所照射の偉力は、久しい前から医療に応用されていましたが、全身照射の効力は昨今漸く学校、工場等へ普及されんとしています。当校でも数年来、諸種の栄養増

進を目的とした薬品、就中肝油等を服用せしめましたが、今年から紫外線の偉力を信頼して、全身照射を実施することにしました。(中略)

光線に対する 認識を深めよ

宇都宮 義真

二年生はさ程でもないが、その他の児童は比較対象を凌駕して、体重、胸囲は増加しました。健康な栄養甲の比較児童よりも、更に体重、胸囲とも増加していることは、慥に紫外線浴の有効なることを証明するに足ると思

います。(中略)

各父兄に尋ねて見ると、
一、食欲が今迄より驚く程旺盛になった。
一、元氣になってよく遊ぶ。

一、睡眠がよくなった。
一、風邪にかかることが少くなった。

以上は大体の報告で、その外、夜驚症がなくなった、寝小便が治った、夜間の喘息発作がなくなった、屢々出た皮膚病が出なくなつた等の喜びの声を聞きました。之等は紫外線浴当然の効果で珍奇な現象ではありません。(後略)

グラスゴー市では、二十人の児童に対して二ヵ月間光線浴をやつた結果、平均して体重二・一〇ポンド、身長一・六インチ増加したことを報告しています。之によつて見るに、光線は食物同様に大切なことが分ります。

光線に曝せば

蛇毒も毒性を失う

光線は凡ての生物の生活機能を高めます。赤血球は増えて血色素が多くなり、白血球も増加し免疫性物質も強くなるため、病氣に罹り難くなります。代謝

機能も亢進し、骨の發育も旺盛になるのであります。

この光線を受けて生活していたものが、衣服を着けて光線を遮る様になつたために、虚弱な體質になつてしまつたのですから、發育期の青年男女はなるたけ裸になつて光線の恩恵に浴さなければなりません。

ありがたい事に、この不思議な偉力をもつ光線は、われわれの身体に有害に働くものから保護してくれるのです。いろいろの毒物は、光線に照らされると毒力が消失し、無毒化されてしまふのであります。蛇毒の様なものでさえも、光線に曝せば毒性を失うのです。

光は畢竟聖なる

湿氣なり

Light, as it were, divine humidity(ディーヴン・humidity)

国連の将来が第二国民の健康如何で決せられることを思えば、光線に対する国民の認識を一層深める必要があります。

◇ ◇ ◇

「光線」昭和九年十月五日発行より引用した。

(ア) メリカの小児の栄養に関する会議が推奨している乳幼児のビタミンD必要量は四〇〇国際単位、絶対量で10マイクログラム(μg)であるが、フルマシラによると、母乳から摂取し得るビタミンDの量は、夏で二〇単位、冬で一〇単位でしかないため、欧米では乳製品にビタミンD添加を義務づけたことは既に述べた。

(イ) しかしこの母乳のビタミンD含有量はあまりにも低値である。この点を再検討したラクダワラらは、従来の研究は脂肪分画に含まれるビタミンDだけを測定していた、水溶性分画にもビタミンDがあることに気付かなかつたからだとの研究成績を発表した。

(ロ) クダワラらの報告を述べる前に、母乳の脂肪分画で得られたビタミンDの測定値を振り返っておくと、 $0.1\mu\text{g}/\text{dl}$ から $0.15\mu\text{g}/\text{dl}$ が定説である。この値では、一日の必要量の $10\mu\text{g}/\text{dl}$ に程遠いことは明白である。

(ハ) そこで、ラクダワラらは、母乳に含まれるビタミンDの大部分は硫酸と結合して水に溶けているので、従前の値は修正しなければならぬとの立場から、母乳中の水溶性の硫酸ビタミンDの値を測定した。

(ニ) 母乳は、授乳を始めて3日から8日の母親22名と、4週から6週の母親14名から得た。その

結果を図に示した。

(ホ) について説明を補足すると、硫酸ビタミンDの値は、授乳3日目から5日目にかけて $1.78\mu\text{g}/\text{dl}$ と有意に高いが、6日目から8日目には $1.0\mu\text{g}/\text{dl}$ と低下し、その後は4週から6週の母乳で得られた値と比べても変化なく、統計的に有意な差のないことを示している。

(ヘ) クダワラらは、水溶性の硫酸ビタミンDが何処でどのようにして生成されるか、また脂溶性のビタミンDと同じ生理作用を持つかなど、基本的な命題が未だ未解決なことから、今後はこれらの研究を進展させなければ、母乳の効能を確定できないことを指摘している。

(ト) ただ同時に、母乳中の水溶性の硫酸ビタミンDの測定値は、脂溶性ビタミンDでこれまで考えられていた値に比べると遥かに高いことを述べ、この点を踏まえて、クル病の予防に母乳の果す役割を見直す必要があると結論した。

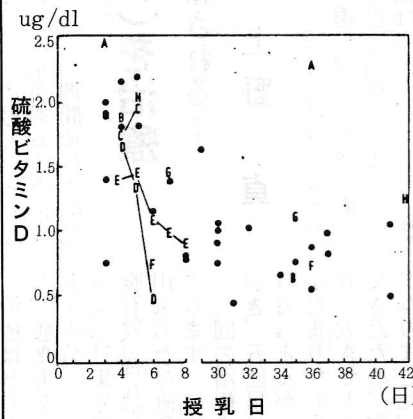
(チ) るに母乳栄養児で、特に光線感受性の鈍い黒人が、クル

応用光線療法学

(24)

□ ビタミンDの作用 □

その 21



医学博士
宇都宮 光明

病になりやすい事実は数多く報告されているのである。

(イ) この中から、一九七七年にミシガン大学のパトリシア・オコナーが報告した、「母乳栄養児に見られたビタミンD欠乏性クル病の二症例」を引用する。

(ロ) 例1は、生後四・五カ月の黒人男児、一九七五年三月二十四初診。患児はこの日の早朝、身体が

患児は母乳で育てられているが、ビタミン剤は使っていない。

(ハ) レントゲン像からクル病と診断して、薬はカルシウム剤、ビタミンDおよび抗痙攣剤を与えた。その結果、一カ月で血清カルシウム値は正常化し、骨の変化も改善して、身長、体重も順調に発育し始めたのである。

なお、今は母乳と牛乳と半々で保育している。

(ニ) 例2 生後十六カ月の黒人女児、一九七五年十二月十九日初診。患児は歩行不能を主訴に整形外科を受診し、骨のレントゲン所見からクル病と診断された。本例も母乳で育てられ、乳製品およびビタミン剤は与えられていない。

来院時、発育不良が顕著で、頭の大泉門はまだ開いていた。患児はいらいらしており、筋肉

の発達も悪い。にも拘らず、母親は母乳を与えることを望んでいるのである。

(チ) 療の第一歩は、患児に牛乳を与えるように母親に助言することであった。その上で、ビタミンDが処方された。この治療によって、病状は好転し、二カ月後のレントゲンは著明な改善を示し、四カ月後には上手に歩き、大泉門も閉じて、全てが順調に回復しつつあることを示している。

(リ) トリシア・オコナーが報告した二症例は、いずれも母乳で育てられた黒人の子女で、ビタミン剤やビタミンDを添加した乳製品は与えられておらず、且つ光線が乏しい冬にクル病と診断されているが、これらの条件は多くの研究者によって、クル病発症の危険因子と看做されているものである。

(ス) しかし、両親はもとより、育児の専門家ですら、母乳の不備をよく知らないものである。

(セ) れ故、まず子を持つ親に、母乳にクル病を予防し得るビタミンDがないことを知らせなければならぬ。その上で、光線浴が食物と同じように大切なことを教えないければならない。もし北方に住み、光のない冬ならば、タラ肝油のような自然の食品か、ビタミンDを添加した乳製品やビタミン剤で、ビタミンDを補うことの大切さを理解させるべきである。

進行癌の三例

早いもので、ウエノ光線療法を開設して37年になります。この間、沢山の難病、奇病の治療も手がけてきました。この経験を通してサナモアの卓越した効能を知り、常に感謝してありますが、最近相次いで、早期手術の時期を失した三例の癌患者を治療し、改めてサナモアの効果を体験しましたので報告します。

子宮癌(三期、四期)

症例は45歳の女性

左の横腹がつっぱって痛みが続くので、婦人科にて診察を受けた結果、頭書の如く診断され、手術をしても助からないと言われたため、母親に付き添われて来所されました。

本例は15年程前からサナモアを持っておりこれまでにも57年には乳癌の疑いを、翌年は腸潰瘍をサナモアで治していますので、初めは相談と指導をしておりました。ところが、段々と容態が悪化してきますので、59年6月18日から毎日治療に来るよう本人に話しました。

治療は、昼は当所にて、BカーボンとDカーボンで腹部に五分、左下腹部(卵巣)五分(一号集光)、胃五分(一号集光)、膝五分、足裏五分、

腰十分、背五分の照射を行い、朝晩は家でも同様にかけてもらって、日に三回の治療をして経過をみました。

その経過は、自ら記した「子宮癌―闘病日記」(同時掲載)に詳しく書かれていますので簡略に述べますと、治療を始めてから一週間ぐらいたとところで、10cmほどの長さのレバーのようなものが2つ出ました。その後も、おりものが多い状態が続き、治療開始一カ月後にはレバーのようなどろっとしたものが一日

腰十分、背五分の照射を行い、朝晩は家でも同様にかけてもらって、日に三回の治療をして経過をみました。その経過は、自ら記した「子宮癌―闘病日記」(同時掲載)に詳しく書かれていますので簡略に述べますと、治療を始めてから一週間ぐらいたとところで、10cmほどの長さのレバーのようなものが2つ出ました。その後も、おりものが多い状態が続き、治療開始一カ月後にはレバーのようなどろっとしたものが一日

サナモアで癌(ガン)を治療

―良好な経過に感謝される―

ウエノ光線療法 上野 貞

中出ました。

しかしその後はおりものも少なくなり、見違える程元気にになり、8月末に激しい右下腹部痛を訴えたことを除くと、9月末までは順調に経過しました。

10月末に再び可成りの出血がありました。11月には出血も止まり楽になっています。

食道癌(肺気腫)

症例は78才の男性

水やお湯を飲んでも直ぐに吐く状態で、食事は勿論通り

がよくなり元気になってきたので、週二回は当所で治療し残り自宅治療にしました。現在は口臭もなくなり、肺気腫も痰が減って呼吸も著しく楽になっています。(この方は姫路の奥の山崎に住んでいますが、畑仕事も手伝えるようになり、非常に喜ばれています。)

乳癌

症例は55才の女性

5月頃から肩が凝り、乳がひどく張ってきたので、指圧

にかり治療していましたが、8月末には、腕が重く、手足がしびれ、背中まで腫れて、胸囲が一米十五厘ありました。このため、8月31日にガンセンターにて診察を受けたところ、乳癌と診断された方です。この人は四―五年前にサナモアを購入しています。

来所時、石のように硬い幅11cm、深さ7cmの腫瘤を触れたが、痛みはありません。治療はBDカーボンを使用し、腹部五分、膝五分、乳房五十分(一号集光器)、五分(二号集光器)、足裏五分、腰五分、背五分照射、この際、出来るだけ直角に当てるようにします。

二回の治療で背中の腫れが引き、五回目には、乳房で触れる、とんがった石のようなかたまり、もし軟らかくなれば、大きさもやや小さくなってきたため、胸囲は九十五厘になりました。顔色も、癌患者によくある特有の黒さが段々と薄くなって、よくなってきましたし、手足のしびれも楽になりました。

この人の場合も当所での治療に加えて、自宅でも朝晩二回かけるように指示しました。また、乳房への照射は、一号集光器を使って五分、二号集光器を使って十分にして続けていますが経過は良好です。

「子宮癌―闘病日記」

E・S 45歳 女性

昭和59年5月25日(金)

横腹がつっぱって痛みがあり病院へ行く。「腎盂(う)炎」との診断。

5月26日(土)

おなかがはる。痛みは変わらず。5月28日(月)

病院へ行く。尿検査の結果は異常なく、「腎盂炎」ではない。重い物を持ち過ぎて、筋をちがえたのだらうと言われ、湿布薬を沢山貰う。

6月1日(金)

あまり痛みが続くので、病院を変え婦人科に行く。左の横腹に大きなしこりがあり、癌の検査をする。結果は来週と言われる。

6月8日(金)

恐る恐る病院の門をくぐる。もう一度検査。部長先生から今日の検査は大変大事だから辛抱しなさいと注意される。沢山の器具を入れレントゲンを写す。あちこちから細胞を取ったため出血がひどく起きることができない。しばらくして先生の説明があり、「あなたは子宮癌の三期(四期)」と言われる。

何が何んだか分らなくなる。(五ページへつづく)

(四ページよりつづく)

「薬が出てますから受け付けて貰って帰らないさい」、冷たいきつい声。どのようにして連絡したか分らないが、病院の帰り、母につき添われて上野先生のお宅に相談に行く。「先生、助けて下さい」手を合せて拝まんばかりに頼んだ。色々と相談にのって頂き、やっと自分を取りもどす。

6月9日(土)

母と一緒に上野先生宅に行き光線治療の方法を教わる。

ショックで食事がノドを通らない。神経科を受診。

6月10日(日)

検査の後の出血が止まらない。苦しくて眠れない。

6月11日(月)

母の掛け付けの内科の先生に相談する。某国立大学附属病院を紹介される。神仏に祈る。

6月12日(火)

点滴に通う。食事も通らずただ涙々。

6月13日(水)

再び大学病院にて検査。長い長い苦しい検査。診断は前の病院と同じ。「出血がひどいようなら今夜でも入院」と言われ帰された。

自分で光線治療をする。

6月14日(木)

ふらふら。点滴に行く。光線

治療をする。

6月15日(金)

大学病院へ。すごい検査が続く。

6月16日(土)

出血がひどいので上野先生に治療して頂き殆んど止まる。

先生は特製スープを母と私に御馳走して下さい。涙でくしゃくしゃになりながら感謝で胸が一杯になる。

6月17日(日)

やっと自分が見つめられるようになる。上野先生のお陰で癌と戦う気力が出る。点滴に行く。

6月18日(月)

今月から毎日上野先生に治療して頂く。朝晩は家でも光線治療をする。点滴に行く。

腰から下が重く切りはなしたように痛む。

6月25日(月)

だんだん元気になったが、左横腹が痛くつらい日が続く。子宮からレバーのようなものが10cmほどの長さで二つ出た。

6月30日(土)

今日が入院の予約日である。母と主人が主治医の先生の説明を受けた。手術をしても駄目なら上野先生におすがりするしかない。病院には入院しないことにした。痛みは少し和らいだが、おりのが多い。

7月15日(月)

チョコレート色した出血がある。

7月16日(火)

再びレバーのようなざらざらしたものが出た。腰から下がだるい。

7月17日(水)

7月19日(金)

牛乳のような白いおりものが出る。

7月23日(月)

おりものも少なくなり痛みも和らぐ。

7月26日(木)

殆んどおりものもなく順調。体は軽くなり友人に「性格が変わった」と言われる。

7月27日(金)

息子達が「毎日目に見えてお母さんが変っていく。顔色もよくなり目に力があり、きれいになった」と言う。一カ月前にはこんな会話はなく、毎日毎日が暗く重い沈黙の月日でした。子供と肩をだきあって泣きました。

7月30日(月)

友達が見舞いに来る。私の生き生きとした姿を見て、みんな目をまるくして驚く。

8月2日(木)

友人を見舞いに大学病院へ行く。そこで診察した婦人科の先生に会ったが、「ぼくは診察していない」と言う。そばの看護婦さんが憶えていて「どうしてそんなに元気になったのか」と聞くので、少しサナモアの話をすると信じられないようである。

展示会へ出席、あきらめていただけに夢のよう。食事のおいしいこと。主人の嬉しそうな顔。子供を見ながら涙があふれる。上野先生、本当にありがとうございます。

8月4日(土)

順調に経過。73cmのウエストが68cmになる。

8月16日(木)

腸(右腹部)がきりきり痛む。

8月26日(日)

昨日来の痛みがますます強くなるので、日曜日だったが上野先生に治療をお願いする。先生に40〜50分治療して頂いているうちに二つ折れになって苦しんだ痛みがとれる。

8月27日(月)

昨日の痛みは全くなき順調。

9月5日(水)

9月6日(木)

9月7日(金)

出血量少なくなる。

9月9日(日)

出血量少なくなる。

出血止まる。

9月10日(月)

白いおりものが少しある。

9月14日(金)

全くおりものがなくなる。

10月4日(木)

また出血が始まる。

10月5日(金)

量が多く、右腹部に痛みがあり立っているのがつらい。

10月6日(土)

藻のようなものが出てくる。

10月10日(水)

10月27日(土)

下腹部に強い痛みがあり少し出血する。

10月28日(日)

午後二時頃からどくどくと出血する。痛みも激しい。母に来てもらい世話をし貰う。

10月29日(月)

出血がひどく動けない。

10月31日(水)

出血が止まり痛みがやわらぐ。顔色もよくなる。

11月5日(月)

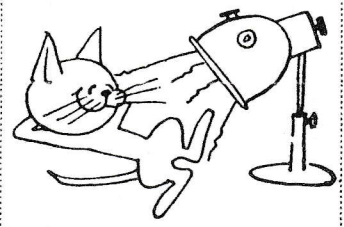
食欲が出て来て、元気がもどってきた。

ウエストが58cmになる。

11月7日(水)

今日は快調。

病気を治す強固な信念と意志をもって頑張ってます。



— 治 験 例 報 告 —

☆ 膠原病

症例 42才 女性

症状 患者は頭書の診断で入院していたため、主治医の許可を得た上で、サナモアを持って光線治療に行った。

治療開始時の容態は、午後七時頃になると寒けを伴って摂氏38度前後に発熱し、また舌は皮むけたように真つ赤で痛みが強く、食事は勿論のこと水も飲みにくく、話しも思うように出来なかった。そのため点滴で栄養補給をしていた。加えて、全身の皮膚はがさがさで、特に背中と腰がひどく、左の腕から手にかけて力が入らなかった。

療法経過 一日の治療で翌日は摂氏37度までしか熱は上らず、三回目には寒けも発熱もなく、舌のあれも改善して色も普通に

なってきた。一週間後には、患者はよく話すようになり、だりりとしていた左手や左指を動かして見せてくれた。

一カ月後に退院を許され、自宅治療を続けている。

神戸市 ウエノ光線療法

上野 貞氏報告

TEL〇七八三三三三三三三三

☆ 胃潰瘍

症例 43才 男性

症状 消化器が弱いために胃腸科専門病院に長いこと通院しているが、一向に良くならないので、光線治療を希望して来所された。

体格は痩せけており、腹はいつもしくしく痛み、茶飲み茶碗に軽く一杯の野菜ジュースを飲んでも直ぐに戻してしまふので、しかめっ面ばかりしていた。

療法経過 ABカーボンにて、足裏、足首、膝、腰、背、腹、肩に照射した。

治療を開始して一〜二週目は、しくしくした痛みが気分的にくらぐらぐら軽くなったが、はっきりとした効果は分らなかった。三週を経過した頃から、ジュースを戻さなくなり、顔色はともよくなり、にこやかな笑顔を見

せ、声にも張りがでてきた。患者も効果をはっきり自覚したので、爾後、自宅で治療するようになった。

以来、三カ月間に12箱のカーボンを消耗して治療した結果、骨皮筋衛門が程よく太り、生き生きとした健康美の姿に変身したのである。

(後記) お礼にわざわざこれらた時に、幼稚園に行ってる坊やのおちんちんの周りに、大小沢山のイボができたので光線をかけてみたら、十日あまりできれいに治った話しをしてました。

春日市 前田光線治療所

前田 ミサ氏報告

TEL〇九二五八一〇三九

☆ 急性扁桃腺炎

症例 11才 男児

症状 喉の痛み、特に物を飲み込む際に激しく痛む。他に発熱、頭痛、倦怠感あり。患児の訴えによると、首から耳まで痛いと言う。顎の下リンパ節は腫れて圧すと痛む。口は渇き口臭がある。反面、つばを飲み込めないため「よだれ」を垂らす。

本例は、友達の子供が当院の治療で完治した話を聞いて来院

したとのこと。

療法経過 治療はAカーボンを使用し、口中二十分(三号集光器)、喉十五分、下顎部のリンパ節に左右各々十五分(一号集光器)合計六十五分照射した。治療後は熱もさがり、喉の痛みも和らいだために安心したようだったが、身体を冷やさないようにして、温かい食事をするように注意した。

翌日来院した際、昨夜半に口から臭いねばつとした黄色いものが出たが心配ないかと質問された。患児をみると、昨日とは打って変わって熱はなく、痛みも腫れも著しく軽減していたので、治療によって排膿したから良くなると説明した。この日の治療は前日と同じように行う。次の日から、口中十分、喉十分の照射を四日間続け、総計六日間の治療で中止した。

以来一年を経過するも再発なし。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL〇四四七三二一五〇六七

☆ メニエル病

症例 46才 女性

症状 当診療所への初診は三年前、46才の時である。

本例は30才台中頃から周期的にめまいの発作があり、悪心、嘔吐、耳鳴、難聴、顔面蒼白など、メニエル病の典型的な症状に苦しむ。特に発作の強い時には周囲は回転して起きていられないと言う。

なおこれまで同じ耳鼻科医で治療を受けていた。

療法経過 AカーボンとBカーボンを組み合わせ、耳の後ろを中心に両耳に各十分(集光器使用)、後頭部十分、腹、腰、膝、足裏各五分照射するように指示して経過をみた。

光線治療を始めてから、これまでの虚弱体質が改善し、患者は自分がネアカになったと言う。発作は半年の間に二回あったが、以前に比べて軽くて済んだ。

半年後には発作が不安で続いていた薬も中止したが、大過なく小康状態が続いた。治療を開始して二年後から今日まで、発作らしい発作はなく、夢の様ですと大変に喜んでる。

サナモア中央診療所
宇都宮 光明氏報告

愛用者だより

☆私の治験例から

大分市 三浦光線治療所

三浦 武生

小生、サナモア光線療法の普及活動に患念している者ですが、皆様の参考になればと願って、最近の私の治験例を報告します。

症例1 緑内障

私の友人ですが、緑内障のため手術を二回受けてます。手術後に視力は好転しましたが、最近になって再び眼圧が高くなってきました。医師は、「手術も三回となると難しいから、目薬で治療しよう」と言われたそうです。この方は私の紹介でサナモア治療器を購入しましたので、Aカーボンで照射法を指導し治療を始めました。その六日後に眼圧の検査をしたら、前回は二十五だったのが十三まで低下していたと大変に喜んでました。

症例2 メニエル症候群

年令六十三才、入院期間も含めて八カ月間通院しても良くならないと言うので、サナモアを購入して治療するようにすめ

めた方です。その結果、五十日間の治療で請負工事の現場に出られるようになりました。誠に嬉しい話でした。

症例3 脳軟化症 変形性膝関節症

脳軟化症のため五カ月間入院してます。また膝の関節痛は変形のためと診断されています。現在、サナモア光線療法を始め、六カ月になりますが、大変元気で自転車は苦にならないようになりました。長期治療で完全に治すと頑張っております。

症例4 肋骨骨折(交通事故)

症例2で述べたメニエル症候群の患者の奥様です。この方

の場合は直ぐに効果があり二十日位で元気を取り戻しました。

症例5 人工透析

(糖尿病性腎症に起因する腎不全例)

特に私が喜んでいますが、先般宇都宮先生に御相談申し上げた姪のことです。糖尿病から腎臓が悪くなり失明しました。今は透析治療をしています。週四日間サナモアを照射することによって、関節の痛み、身体全体の痒み、気力減退等が大いにやわらいだと姪も喜んでます。今後もし治験例を投稿します。

☆痔が完治

福岡県田川郡 村上 百木

小学校時代の友人が光線治療所を開設していましたので、遊びに行きますと、時折、完治された方がお礼に訪れているのに出会うことがあります。病名はわかりませんが、医者通いのあげく、最後に光線療法にすがつたという方が大部分です。あんなパーマ屋さんの様なもので、光を当てるとなぜ治るのか、不思議でなりません。半信半疑のまま、小生、永年の悩みである痔治療を決意しました。

した。医者からは手術をすすめられていたのですが……。するとどうでしょう。一週間で肛門の周りが幾分、乾いてきました。

毎日、二回の照射後は必ず患部をシャワーで清めました。根気よく続けた結果、三カ月後には完治したではありませんか。何年も患ったものがこんなに短期間で治るとは、とうてい考えられないことですが、事実です。

今年、七十七才になりましたが、サナモアのお蔭で至極健康な毎日を過ごしています。

☆健康保持に役立つ

愛知県尾西市 石川 祐子

サナモア光線を愛用して約二十年、主人はじめ三人の子どもそれに私の一家五人、いろいろと健康づくりに役立ち、大いに助かっています。

主人が右手の筋肉炎で医者にかかったのですが、駄目で、光線療法にきりかえた結果、三カ月で良くなりました。水虫も出来ましたので同時に照射しましたが、これも全治しました。これからも家族中、健康保持のため、役立てたいと思います。

より安全・確実に

使用の手引き

サナモアを御愛用賜りました誠にありがとうございます。より安全、確実に御利用頂くためのポイントを列挙してみました。

長年使っていますと慣れで、つい取り扱いがルーズになりがちです。

お宅でも御利用の状況を一度チェックしてみているかがでしょうか。

一、器具の上や周囲には焼えやすい物は絶対に置かないで下さい。特に、照射器の中には物を入れないで下さい。

七、カーボン交換はドライバーを使用し、

落下物の危険のある所で使用はしないで下さい。

四、カーボンを発光させたまま就寝、外出はしないで下さい。

五、照射器は水平にセットし、

電源から抜いて下さい。

八、使用後は必ずソケットを



レーザー光線で

難治性潰瘍を治療

外科領域でのレーザーメス、眼科での光凝固療法に始まった医学へのレーザー光線の応用は、着実に適応範囲を広げつつあります。

昨年一月に発行した本紙二三二号には、レーザー光線で痛みを治療の記事を掲載しましたが、その際に述べたように、低パワーのレーザー光線で得られる効果は、サナモアでも通用します。そこで本号では、レーザー光線が皮膚の傷や潰瘍の治療に著しい効果を示すとの、国際レーザー外科学会での報告を述べます。

皮膚の切り傷、擦り傷、火傷、潰瘍に低パワーレーザー光線を照射する治療法は、西独、ハンガリー、ソ連などで利用されていますが、いずれも著明な治療効果を報告しています。その中から、西独のハイナ博士の基礎的

な実験成績を引用しますが、その前に肉芽組織と言う表現について説明しておきます。

原因は外傷でも、火傷や熱傷でも、血栓による血管閉塞でも、圧迫による床擦れ(褥瘡)でも、身体の一部が死に(壊死と言います)、ある程度以上の大きさの欠損(潰瘍)ができてしまうと、元どおりには再生できなくなり、そこに赤味を帯びた軟かい出血しやすい組織ができてきます。この新しく出来た組織は肉芽組織と呼びます。この肉芽組織はしだいに硬くなり瘢痕化し、さらに時日の経過と共に収縮して瘢痕性収縮をおこして治癒します。このように肉芽組織は、組織に欠損がある場合の修復過程で必ずできるのであり、肉芽の形成がよいことは治りのよいことを表わしているのです。

ハイナ博士は、ラットの背中に筋層にまでおよぶ穴をあけ、ここにプラスチックのリングを埋めて、これにレーザー光線を照射し、リング内に形成される肉芽組織を取り出して、照射しない対照群と比較した結果、照射群で肉芽の形成が良好なことを明らかにしました。

次に、モルモットに火傷を作り、皮膚の再生におよぼすレーザー光線の効果を調べ、レーザー照射群は細胞分裂が活発に行なわれ、72時間で最高に達する

のに、対照群では96時間で最高になることを証明しました。これは、レーザー光線照射群で表皮の再生が促進していることを表わしています。

また、ハンガリーのメスター博士は、レーザー光線を難治性潰瘍の患者に実際に応用して、創傷の治癒傾向が促進することを明らかにしています。

これらの結果から、レーザー光線照射が、正常な肉芽組織の形成を促し、表皮の再生を促進することは明白です。

同じことが、サナモア光線照射でも言えるのです。実際、サナモア愛用者の中に、傷の治りが早いことや、火傷がきれいに治ることや、肉の上がりやすいことを、眼で見て確かめた方は沢山います。それに、サナモアには傷口を殺菌する作用もありますので、細菌感染も防ぎます。ですので、これまでは使う機会がなかった人も、次の機会(ないことを願ってますが)には是非ともサナモアを試して下さい。

お知らせ

新年は

一月五日(土)から

営業を開始します。



サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物・手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお不十分と言わざるを得ません。

このため、人々の健康を願うと共に光線療法について、啓蒙、普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に、サナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親、体験発表意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三二五二八
セーニ一五三三二